

- プリンタの湿気 9-2
- キャリッジブッシングの騒音 9-2
- ベルトの膨張 9-2
- プリンタのクリーニング 9-2
- 一般クリーニング 9-2
- Overdrive Cleaning（オーバードライブのクリーニング） 9-3
- 予定保守 9-3
- プリンタ使用レベル 9-3
- スキャン軸の保守 9-4

予防保守

プリンタの湿気

プリンタは、20～80パーセントの相対湿度環境で使用する必要があります。高湿度な状態から回復するには、プリンタの電源をオフにして、リファレンスとしてメインローラーを使用し、プリンタが完全に乾いてから、再び使用してください。

キャリッジ ブッシングの騒音

キャリッジの騒音を防ぐには、キャリッジ背面のブッシングおよびブッシングが移動するスライダパスからアルミニウムやちり片を取り去ります。

ベルトの膨張

新しいベルトが不適切に膨張するのを防ぐには、取り付けが必要になるまで、それらを専用の袋の中に保管してください。

プリンタのクリーニング

プリンタをよい使用条件に保つには、ほこり、インク、その他の汚れを放置しないようにしてください。クリーニングの間隔は、プリンタ環境および使用しているプリンタサプライ品の種類によって決まります。

一般クリーニング

一般的なクリーニングには以下が含まれます。

- 1 圧縮エアーで積もったほこりを吹き払います (使用可能な場合)。
- 2 石鹼および中性洗剤をうすめて使用してください。研磨剤入り洗剤は使用しないでください。
- 3 毛羽立ちがなく柔らかい布でプリンタを拭いて乾かします。

Overdrive Cleaning（オーバードライブのクリーニング）

注記

オーバードライブにインクがこぼれたら、インクを拭き取ってください。インクの反射率のために、オーバードライブにこぼれたインクによってプリンタのエッジ検知機能に混乱が生じることがあります。オーバードライブからインクを拭き取るには、以下の手順を行います。

警告

電子部品または回路の上や、開口部の中のモジュールに、水やその他の液体がかからないようにしてください。

- 1 Overdrive Cleaning（オーバードライブのクリーニング）ユーティリティを実行します ⇒ 4-38 ページ
- 2 立ちがなく柔らかい布切れに浸し、オーバードライブを回転させながら表面を拭きます。オーバードライブの表面を隅々までクリーニングします。その後、乾拭き（中性洗剤を使用した場合は、水拭き後に乾拭き）します。また、ドライバローラーの左側のマーク エンコードも必ずクリーニングしてください。
- 3 クリーニング手順が完了したら、入力ボタンを押します。
- 4 プリンタに用紙を取り付ける前に、オーバードライブが乾くまで待ちます。

予定保守

プリンタ市場の一部の分野では、カスタマが、設計の限界を越えて許容スループットである最大印刷数より多くの枚数を印刷する傾向にあります。これにより、出力品質に問題が生じたり、継続的なプリンタの故障の原因になったりします。

予定された予防保守の目的は、これらの故障を防ぎ、全製品の耐用期間内に優れた性能を確保することです。

プリンタ使用レベル

標準プリンタのキャリッジ サイクルは平均7,500,000回です。標準的な使用条件下では、およそ5年ごとにプリンタの保守が必要になります。使用頻度が高い場合は、さらに頻繁に保守サービスが必要となります。

EEROM カウンタのうちの1つが、キャリッジ サイクル数のカウントに割り当てられています。プリンタがこの数を超

えると、次のメッセージがフロントパネルに表示されます。

「ホシュガヒツヨウデス」

サービス構成プリントでは使用情報も提供され、ユーザによるアクセスが可能です。

「ホシュガヒツヨウデス」というメッセージが表示されたら、予防保守キットを使ってプリンタの消耗の激しい部品を交換する必要があります。必要な部品を交換するためのガイドとして、本サービス マニュアルの「取り外しと取り付け」の章を参照してください。

予防保守キット - 製品番号 C6072-60143

スキャン軸の保守

スキャン軸モーターの消耗に加えて、用紙からのインク粒子やほこりの蓄積およびスライダ ロッド付近の空気により、この領域の摩耗が増大します。

スキャン軸の保守には、スライダ ロッドの正しいクリーニングとロッドへの減摩剤のオイル塗布が必要です。

注記

最もクリーニングが必要な部分は、ロッドの上部と内側です。